

大田区子ども・若者計画掲載施策 令和7年度実績報告

A評価(当初想定を上回る実績があった)

個別施策	令和9年度 目標値		令和7年度 実績値	令和7年度 事業実績	評価説明	所管課
子ども交歓会	参加者数	600 人	700人	第68回大田区子ども交歓会の実施 【日時】令和8年2月15日(日) 【場所】平和島公園キャンプ場・大田区青少年交流センター 【参加者数】700人	大田区少年少女団体協議会と共に平和島公園キャンプ場・大田区青少年交流センターゆいっつにて実施。こども414人、大人286人の参加があり、目標600人を超えた。こどもの参加人数も増加しており、さらなる地域の活性化に寄与することが期待できる。	地域力推進課
青少年交流センター“ゆいっつ”における事業運営	施設利用者数 (宿泊・日帰りの総数)	65,000 人	63,444人	【利用者総数】 63,444人 宿泊利用者 8,355人 日帰り利用者 55,089人 【利用促進の主な取組】 ・近隣スポーツ施設、学校(近隣4小学校、区内全都立高校)、図書館(11館)への施設及び事業周知チラシ配布(年2～3回) ・X及びインスタグラムへの投稿 ・ドローン体験教室、算数・科学を取り入れた講座、夏休み星空かんさつ会、コスミックカレッジ(宇宙教室)、親子宿泊ツアー(クロノゲート見学)等、こどもたちへ学びと体験を提供する事業の拡充	目標50,000人(令和7年度)に対し、63,444人の実績を達成し、利用促進が着実に進んだ。施設・事業周知のチラシ配布(年2～3回)などの情報発信に加え、ドローン体験教室や星空観察会、コスミックカレッジ等の体験型プログラムを拡充したことで、こども・親子層の関心を高めた。さらに、宿泊団体にゆいっつで撮影した写真を提供し、SNSで発信することで、区内外への認知度向上を図った。結果として、利用団体の定着に加え、大会時に遠方の学校の利用や新規申込みの増加につながった。	地域力推進課
職場体験実習の実施	実習者の延べ人数	90 人	113人	就労継続支援B型等職場体験実習 10人 就労移行支援事業所公共機関実習 103人	公共機関実習について、回数の変化は無いが、事務補助訓練の必要な利用者が多く1回の実習に参加する利用者が増えた。	障がい者総合サポートセンター

C評価(実績が当初想定を下回った)

個別施策	令和9年度 目標値		令和7年度 実績値	令和7年度 事業実績	評価説明	所管課
Oh!!盛祭の開催支援	参加者数	1,500 人	500人	第15回ヤングフェスOh!!盛祭の実施 【日時】令和8年3月15日(日) 【場所】大田文化の森 【参加者数】約500人	目標値1,500人(令和7年度)に対し、実績は500人に留まった。事業目的である「地域とつながり、将来的な地域の担い手の発掘・育成の機会の提供」という観点では、ボランティア参加者の大幅な増加を達成していると評価できる。一方、一般参加者への広報は、近隣小学校へのチラシ配布にとどまっている。今後、区公式LINEの活用等、広報手段を検討する。	地域力推進課